

実習スケジュールについて

北九州市立大学 学生支援課 就職係

1 オリエンテーションについて

インターンシップは、就業体験を通じた人材育成が目的ですから、実習の開始にあたっては、担当者の紹介や実習スケジュールをはじめ、貴社の事業概要や経営理念をご紹介しますようお願いいたします。これにより、学生は自分が行う実習が企業全体の事業の中でどのような位置づけにあるかを把握でき、実習効果が高まります。

オリエンテーションの主な内容

- | | |
|-----------------|------------------------|
| ・担当者等の紹介 | 実習に直接的に関与する者との顔合わせ |
| ・企業概要の紹介 | 事業内容、組織、経営理念、沿革など |
| ・実習概要の説明 | 実習スケジュール、おおまかなカリキュラム説明 |
| ・人事労務管理、手続上の諸注意 | 制服の貸与、昼食費の清算方法など |
| ・社内見学・各部門の紹介 | |

2 安全上の諸注意

人命や重大な事故につながる恐れのある事項については、実習の始めに必ず、安全教育を実施していただきますようお願いいたします。

安全教育の例

- 【製造業】危険な物・場所（高電圧、重量物、劇物、作動中の機械等）に関する注意、事故発生時の対処法
- 【食品取扱業】食中毒防止に関する心得、顧客に不安不信を与えない服装・動作など
- 【ホテルなど】火災発生時の避難・誘導など
- 【その他一般】業務上の機密や顧客のプライバシーの取り扱いなど

3 社会人としての心得・マナーについて

学生に対しては、社会人としての心得・ビジネスマナーについて大学において事前研修を行います。接客応対が重要となるような職場では、敬語の使い方、来客対応、服装・身だしなみなど、新入社員を対象に行う研修を参考に実施していただきますようお願いいたします。

4 日々の実習

各職場での実習が基本となりますが、朝夕に「本日の作業目標の確認」や「感想・反省レポートの作成」を行い、速やかに担当者が点検し、翌朝コメントを添えて返却すると、実習効果が高まります。

5 ディスカッション形式・プレゼンテーション形式の活用

ディスカッションの例

- ・就業観に関する学生と若手社員とのディスカッション

何の為に働くか（夢と現実）、どんな仕事をやりたいか（企画・管理・製造・営業？）、社会人の責任（社会人と学生の違いは？）

実習の最終日に関係者を集めて報告会（評価会）を実施して下さるようお願いいたします。

報告会の内容例

- ・学生による実習成果の発表
- ・受入部門責任者（または経営者）による講評
- ・意見交換 学生…実習の感想、実習前後における意識の変化、業務改善の提言など
会社…今後の学業に向けたアドバイスなど